※令和４年度以降入学生用

学校番号	110

令和５年度　芸術科美術

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術Ⅰ「高校生の美術Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画、デザイン、立体彫刻、鑑賞について学ぶ。
鉛筆、絵の具用具の基本的な使い方を再確認、習得させる。
観察して表現する基礎的な力を、身近なものを対象に学ばせる。
自己の内面表現、個性ある作品作りを考えさせ、集中力、洞察力をたかめ，創造する楽しさを学ぶ

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした作品作りを念頭におき発想したものを表現するために用具、画材を活用しているか	自己を追求し、個性ある作品作りを目指し、常に自己との対話を欠かさず制作し、他人との比較でなく自分の目指すものを形にしていく	美術や芸術文化に関心を持ち、個性ある創造力の向上、創作に対する意欲、制作に取り組む態度と熱意の向上を目指す。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	素描	オリエンテーション 鉛筆の使い方、グラデーション。鉛筆デッサン一自作した幾何形体をデッサン	a:用具の使用方法を理解しているか b:遠近法、陰影、質感、基本的な明度表現、鉛筆の使い方が習得できているか c:集中できているか、工夫をしているか	下絵	作品	観察 作品
	色彩練習	色彩のグラデーション 色彩によるトーンの練習	a:基本的な色彩グラデーション、色だし、筆の使い方、混色について理解できているか b:基本的な色彩表現を理解し制作に集中できたか c:集中力、自己評価	下絵 作品	観察 作品	観察
二学期	絵本つくり	個性あるオリジナルの仕掛け絵本の制作	a:作品の意図を明確にするための工夫はされているか b:創造性、構成力、個性がだせているか c:創意工夫、いろいろな方法に挑戦しようとしているか	下絵 作品	観察 作品	観察
	彫刻	木彫鳥をレリーフする。 動物をデッサンしリアルに浮き彫りにする	a:木彫の手順を理解し計画的に彫り、制作に集中できているか b:素材の特徴を理解しレリーフするための方法を理解し、なおかつ正しいデッサンがなされているか c:注意力、作業手順を理解できているか	下絵	観察 作品	観察
三学期	切り絵		a:カッティング方法を理解して制作しているか b:切り絵についての技法、用具をうまく使い分けられているか c:切り絵のルールを理解しているか	観察	作品	観察
	自由課題		a:得意な方法でで作品作り b:個性的であるか c:制作を楽しめたか	下絵	作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度